

茨城県国際理解教育推進協議会

会長 川俣 勝慶 殿

ワールドキャラバン国際理解教育実施報告書

学校名 笠間市立岩間第三小学校

担当教諭名 鳥羽田 ゆう子

「ワールドキャラバン」国際理解教育については、下記のとおり実施しましたので報告します。

記

実施日時	平成 22 年 11 月 29 日 (月) 10 : 40 ~ 13 : 15
対象学年と人数	第6学年 60名
派遣講師名と出身国	ジェフリー・バーク(アメリカ) グ・ミンチョル(韓国) 本田 都志(コーディネーター)
活動の内容	1 始めの会(歌・母国語で自己紹介等) 2 クリスマスの話を聞こう(プレゼント・食べ物・服装・遊び等) 3 クリスマスカードを作ろう(買い物ごっこを通して、クリスマスカードを作る) 4 終わりの会(感想発表・お礼の言葉・プレゼント・歌等) 5 講師の方とふれあい給食
今回実施されたワールドキャラバンについて評価 Q1~Q3 それぞれ一つ選んでください。	事業に参加しての意見・感想 本校では総合の時間の一環としてワールドキャラバンをはじめて活用し、有意義な時間を過ごすことができた。 講師の先生方、コーディネーターの方が、一生懸命買い物ごっこに参加してくださり、子どもたちも楽しみながら活動できた。
生徒・保護者等参加者の感想	日本と韓国はとても近い国同士だけれど、知らないことがたくさんありました。日本と似ているなとも思いました。クリスチャンが多いのでクリスマスの25日が休日になるのがうらやましかったです。(児童) アメリカの国旗の意味やクリスマスやお正月の様子が分かりました。買い物ごっこで色や形のステッカーを買い、クリスマスカードを作ったのが楽しかったです。(児童)
先生の感想	外国語の活動で学習した自己紹介や買い物の場面での会話を活用しながら、外国の先生方と交流できたことが有意義であった。また、日本と外国の文化の違いを知ったり理解したりすることは、これからの国際理解教育へとつながっていくと感じた。

